

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第17号 平成26年8月3日

達脇今期 勝目 昌平今期 度目の猛打賞

手堅く得点を重ね逆転勝利！！

	1	2	3	4	5	6	7	R
B	2	0	0	0	0	1		3
G	0	1	3	0	2	×		6



8/3(日) Victoria予選4戦目を光が丘公園野球場に向き、ビッグボーイズと行った。非常に暑い今日は、熱中症のメンバーが出る心配であったが、結果は、そんなメンバーは出ず、無事ゲームを勝利で終えた。今日のマウンドは達脇が上がり、13:10にプレイボールとなった。その気になる入りは、ストライクから、今日は良いかな?と思ったのも綱の間に、そこから4連続ボールであっさり四球で走者を出す。しかし、後続二人をフライアウトにし、二死としたが、4番打者に3-1から投じたボールが真ん中に入り、レフトオーバーの2ランを喫した。その後内野安打と四球で走者を出したが、この回最後は中飛に取り、何とか二点に抑え初回を終えた。翌二回の我がチームの攻撃、4番昌平が、インコースを綺麗に腕をたため、三遊間を抜き出塁、次打者浅沼が四球を選択し無死一・二塁とすると、ベンチの勢いは高まっていた。打席に入ったのは、最近好調な深沢、が、結果は一番やってはいけないフライアウトで一死、しかし、続く智は、初球セーフティを決め一死満塁、ここで打席にゾーが左打席に入り、その初球、合せたバッティングは、前進守備のショートの前、しかし、ゴロゴロのスタートを三塁走者昌平が見事に走り切り1点を返す。二死二・三塁と逆転のチャンスであったが、後続が倒れ最少得点の1点止まり。その裏の相手攻撃、先頭が安打で出塁、次打者の時にWPで走者が二塁へ進塁し、ピンチとなった。打席には、前の打席でHRを放っている4番、2-2から放たれた打球は、ショート祐太郎の横を抜ける勢いの打球、しかし、これを祐太郎が渾身の捕球を見せ、一死とした。後続は四球で一人出したものの、残りを抑え、この回を0封とした。祐太郎の守備が無ければ、相手に流れがいただけに、大きいプレイである。そして、その裏に大きくゲームが動いた。先頭の哲也が2ベースで出塁、次打者の時に三盗を決め無死三塁、次打者は倒れ一死となり、打席には祐太郎、その祐太郎が四球を選択し出塁、この一塁牽制が悪送球になり、難なく哲也が生還し同点、そして、昌平が鋭い打球をライト前に運び、祐太郎が一拳二塁より生還し逆転、しかし、今日のベースは移動で且つふわふわ、三塁を回った時点で足を取られ転倒したが、よく生還した。更には、浅沼が左に犠飛を放ち昌平が三塁より生還しこの回3点を挙げ、展開・流れをぐっと引き寄せた。4回で達脇はマウンドを降りたが、結果2点に抑え、嬉しい今期3勝目を挙げた。二番手の光希も1点は取られたものの、最少の1点に抑え、今期初セーブを記録した。打線は、二本の安打で出塁した走者が深沢の内野ゴロの間に好走塁を見せ、更に2点を追加し、今日のゲームを勝利した。

振り返ってみると、今日は先を進む気持ちの走塁と、繋ぐ打線が勝利の要因、更には、四球の数が多いもの、要所を抑えた投手陣とそれに答えた守備陣と、暑い中のチーム一丸が勝利の要因であろう。まだまだ暑い夏は続く、この勢いで、8月の公式戦を全勝で収めて暑さを吹き飛ばそう！